

連合奈良ユニオン 2008年度活動方針

1. すべての働くものの連帯をめざす運動の推進

現在の社会状況を一言で表現すると「格差拡大社会」と言えます。年収200万円未満の世帯が20%を超えるとともに、さらに拡大再生産されようとしています。

いま連合運動に期待され求められるのは、組合員のための雇用や生活にかかる運動だけでなく、全労働者の雇用や生活につながる格差社会からの脱却をめざす運動であります。

本日結成された「連合奈良ユニオン」は、2月2日に設立された「連合奈良・非正規労働センター」「2008春闘中小共闘センター」「連合奈良地域協議会」と連携し活動を展開することとします。

とりわけ地域を拠点とした労働相談、労使紛争・個別紛争の具体的解決をはじめ賃金の底上げをはかる「最低賃金」のさらなる引き上げや「雇用形態による差別禁止」や「均等待遇」を求めるなど、すべての働く者の結集を目指すこととします。

2. 具体的な活動・取り組み

(1) 組織強化・拡大活動

- ①まず「連合奈良ユニオン」の内外への周知・宣伝と組織づくりを行います。
- ②「非正規労働センター」「北和地域協議会」と連携し労働組合づくりを進めます。
- ③手始めに連合未加盟組合への加盟呼びかけを図ります。
- ④雇用形態にかかわらず「誰でも一人でも加入できる」との広報を行います。
- ⑤執行委員会を中心に課題を共有化し運営、取り組みにあたります。
- ⑥連合奈良の各種会議、メーデー、旗開きなどの行事等にはできるだけ参加し情報・課題の共有化に努めます。
- ⑦労働相談、組合づくり、組織運営のできる人材発掘、育成を検討します。

(2) 労使紛争・個別紛争に対する解決機能

- ①「連合奈良なんでも相談ダイヤル」「非正規労働センター」と連携するとともに、具体的解決にあたっては、使用者との交渉体制を確立するとともに、奈良県労働委員会、奈良労働局をはじめ連合顧問弁護士、連合推薦議員と連携し解決にあたります。
- ②また今秋開設予定の「(仮称) ライフサポートセンター奈良」と連携し労福協、労金、全労済を通じ勤労者福祉の向上、生活相談体制について取り組みます。

(3) 2008春季生活闘争の取り組み

格差社会からの脱却をめざし、連合奈良2008春闘取り組み方針にもとづき、すべての労働者の底上げを目指す(ミニマム運動課題)とともに、連合奈良ユニオン加盟の組合、個人それぞれの実情・課題にそくした取り組みを進めることとします。